

都道府県名：佐賀県 団体名：^{かせがわだむたいさくきょうぎかい}嘉瀬川ダム対策協議会

地 域

北部九州最大規模の嘉瀬川ダムが建設された佐賀市富士町は、佐賀県の北部に位置しており、脊振・天山山系が連なる間にある起伏に富んだ大地は、嘉瀬川の清らかで豊かな水を育んでいます。

また、脊振・天山県立自然公園など3つの自然公園と古湯・熊の川温泉郷、さらには嘉瀬川ダム（富士しゃくなげ湖）とその上流にある北山ダム（北山湖）は、四季を通じて移り変わる水と緑の豊かな自然景観を形成し、清澄な山気に包まれて、「緑と清流と温泉の町」として、佐賀県民はもとより、県境を接する福岡都市圏の人々の憩いの場ともなっています。

経 緯

嘉瀬川ダムは、昭和63年に建設着手され、平成24年3月に完成しました。

ダム建設に当たっては、ダムや周辺整備で172世帯が水没・移転を必要とされました。

嘉瀬川ダム対策協議会は、ダム建設のため必要となる地域の合意形成や、地域振興に関する調査研究の取組みなどを目的に、平成3年5月に設立され、水没地域全世帯で構成された団体です。

功績内容

- ・嘉瀬川ダム建設に伴い移転を余儀なくされた方々の生活再建や用地提供に当たった調整など、長年にわたって、組織を挙げてダム建設の円滑な進捗に協力されました。その結果、農業用水等の確保や地下水に依存していた佐賀平野の地盤沈下の抑制が図られたほか、下流地域の洪水被害の防止・軽減が実現できました。
- ・ダム建設や地域振興事業の進展に伴い、植樹を通じた水源涵養や美化活動に取り組みされるとともに、下流受益地域との交流を積極的に進められています。



ダム竣工記念碑。願いを込めた「水恵無限」



上下流交流(湖畔ウォーキング)



水源涵養のための植林活動



嘉瀬川ダム補償基準妥結調印式
(平成7年1月30日)